

3.1.3 その他ソフト面による経営努力

(1) ダイヤ改正によるサービス向上

生駒～学研奈良登美ヶ丘間の開業後、しだいに増加するお客様の要望に応えるとともに、サービス向上による利用客のさらなる増加を目的に、数回にわたりダイヤ改正が実施された。

2006（平成 18）年 7 月 19 日には、学研奈良登美ヶ丘駅前に開業するイオンモール従業員の帰宅手段を確保するため、深夜 23 時台の回送列車 2 本を生駒行旅客列車に変更、増発した。

2009（平成 21）年 8 月 30 日から、学研奈良登美ヶ丘～生駒間で朝ラッシュ時に 8 本増発した。これにより朝ラッシュの最混雑時間帯に残っていた生駒駅始発列車は全て学研奈良登美ヶ丘駅始発となって、新線区間 3 駅の利便性が大きく向上した。

2013（平成 25）年 3 月 23 日には、朝ラッシュ時に学研奈良登美ヶ丘方面へ通学する児童生徒の増加に対応して、生駒発学研奈良登美ヶ丘行 3 本が増発された。

2018（平成 30）年 3 月 24 日から、生駒～学研奈良登美ヶ丘間で列車の増発、最終列車の繰り下げ、始発列車の繰り上げ等、より一層のサービス向上を実施している。

生駒駅 (2018年3月24日変更)

発車時刻表 Timetable	
平日用 (月～金) Weekdays (Monday～Friday)	
コスモスクエア方面 For Cosmosquare	学研奈良登美ヶ丘方面 For Gekken-Nara-Tomizaka
5	17 37 47 57
6	7 14 22 29 36 44 51 58
7	3 9 14 18 23 27 31 35 38 42 45 49 52 55 59
8	2 6 10 14 18 23 28 32 37 42 47 53 58
9	4 10 16 23 31 38 46 53
10	1 8 16 23 31 38 46 53
11	1 8 16 23 31 38 46 53
12	1 8 16 23 31 38 46 53
13	1 8 16 23 31 38 46 53
14	1 8 16 23 31 38 46 53
15	1 8 16 23 31 38 45 52 59
16	6 13 20 26 32 42 47 57
17	2 7 12 17 22 27 32 37 42 47 52 57
18	2 7 12 17 22 27 32 38 44 50 56
19	2 8 15 22 29 36 43 50 57
20	4 11 19 26 34 42 50 58
21	6 14 22 31 41 51
22	1 11 21 31 41 51
23	1 11 22 30
0	
5	59
6	12 29 40 51
7	1 8 12 16 20 27 30 34 37 41 44 49 53 58
8	1 5 11 18 28 40 48 57
9	5 13 25 32 42 54
10	2 11 22 35 43 58
11	13 28 43 58
12	13 28 43 58
13	13 28 43 58
14	13 28 43 58
15	13 28 43 59
16	8 20 29 43 51
17	4 19 31 40 50
18	0 10 20 30 37 47 55
19	0 5 11 20 30 40 45 50 56
20	5 11 20 29 39 51
21	0 13 22 32 40 49 59
22	9 23 29 43 49 59
23	9 23 33 43 52
0	4 14

けいはんな線 生駒駅時刻表 [平日] (2018年3月28日改正)

(2) 駅員配置の見直し

生駒～学研奈良登美ヶ丘間の開業後においても、改札口の無人化（遠隔監視）やエレベーター設置によるバリアフリー化などを実施しており、各駅の係員数も引き続き見直し削減を実施している。



無人改札（吉田駅 上り改札）

表-29 けいはんな線 開業後の駅係員配置の推移

駅名	開業当時 (2006年3月27日～)			現在 (2018年3月)		
荒本	出・改札	隔日交代	1	出・改札	隔日交代	1
吉田	改札（下り）	隔日交代	1	改札（下り）	隔日交代	1
	改札（上り）	隔日交代	1			
新石切	助役	隔日交代	1	助役	隔日交代	1
	改札	隔日交代	1	改札	隔日交代	1
生駒 (けいはんな線 関係のみ)	駅長	日勤	1	駅長	日勤	1
	助役（センター）	隔日交代	1	助役（センター）	隔日交代	1
	改札（中央連絡）	隔日交代	2	改札（中央連絡）	隔日交代	2
	改札（北）	日勤	1			
	改札（地下東連絡）	隔日交代	1	列車扱（ホーム）	日勤	1
	列車扱（ホーム）	日勤	2			
白庭台	改札	隔日交代	1	改札	隔日交代	1
学研北生駒	改札	隔日交代	1	改札	隔日交代	1
学研奈良 登美ヶ丘	助役	隔日交代	1	助役	隔日交代	1
	改札	隔日交代	1	改札	隔日交代	1
1日あたりの 配置要員	17			13		

(3) イベントの実施

近鉄では、沿線各地でハイキングや各種イベントを開催して、定期外旅客の積極的な誘致を図っている。けいはんな線を管轄する生駒駅が主催したハイキングのうち、けいはんな線に関するものについて表-30 に示す。

表-30 けいはんな線沿線 ハイキング実績

実施年	実施日			タイトル	スタート駅	ゴール駅
2006 (H18)	4	9	日	けいはんな線開業記念① 長弓寺から矢田山遊びの森へ	学研北生駒	南生駒
	5	13	土	みどり豊かなくろんど池周辺を散策	白庭台	学研北生駒
	5	21	日	けいはんな線開業記念② 学研都市から高山竹林園へ	新祝園	学研奈良登美ヶ丘
	6	3	土	けいはんな線開業記念③（最終回） 宝山寺からむろいけ園地へ	宝山寺	白庭台
	9	2	土	新緑“ゆめはんな”沿線を歩く	学研北生駒	白庭台
2007 (H19)	2	25	日	酒蔵みてある記	学研奈良登美ヶ丘	白庭台
	4	1	日	けいはんな線 1 周年記念ハイキング 西大寺から学研都市へ	大和西大寺	学研奈良登美ヶ丘
	4	11	水	桜通りと河内街道沿いの史跡散策	河内花園	吉田
	6	24	日	あじさいを訪ねて 興法寺からぬかた園地へ	新石切	額田
	12	2	日	石切神社から生駒縦走コースを訪ねて生駒山上へ	新石切	生駒山上
2008 (H20)	1	27	日	酒蔵みてある記	菜畑	白庭台
	2	10	日	LET'S 健康ウォーキング 未来都市けいはんなとけいはんな記念公園散策	学研奈良登美ヶ丘	新祝園
	5	17	土	古墳群から学研奈良登美ヶ丘へ	平城	学研奈良登美ヶ丘
2009 (H21)	2	1	日	美術館・神社・酒蔵めぐり国宝長弓寺を訪ねて	生駒	学研北生駒
	6	7	日	金剛生駒：第 4 回 むろいけ園地から初夏の生駒山上へ	白庭台	生駒山上
2010 (H22)	2	27	土	初春の生駒山の自然に触れて銘酒酒蔵めぐり	生駒	学研北生駒
2011 (H23)	1	23	日	酒蔵みてある記	生駒	白庭台
2012 (H24)	1	29	日	酒蔵みてある記	学園前	白庭台
	11	24	土	晩秋の「くろんど池」へ	学研北生駒	京阪・私市駅
2013 (H25)	1	19	土	酒蔵みてある記	学研奈良登美ヶ丘	白庭台
	11	11	月	ザ！いこまやま	生駒	新石切
2014 (H26)	1	18	土	酒蔵みてある記	富雄	白庭台
	5	4	日・祝	五私鉄：第 2 回-近鉄奈良線100周年記念- 茶釜の里高山から新緑の大和文華館へ	学研北生駒	学園前
2015 (H27)	4	19	日	東大阪えとこどり陽春に巡るぶらり旅	新石切	荒本
	12	12	土	吉田の神社巡りと中甚兵衛ゆかりの地を訪ねて	東花園	荒本
2016 (H28)	10	1	土	ぶらりウォーク（近鉄けいはんな線 地下鉄中央線）相互直通運転30周年記念イベント	長田	新石切
	11	13	日	金剛生駒：第 7 回（最終回）石切剣箭神社から生駒山上を目指して	新石切	生駒山上
2017 (H29)	2	5	日	酒蔵みてある記	菖蒲池	白庭台
	3	8	水	春風の甘い香りと早梅咲きの音色を奏でて♪	新祝園	学研奈良登美ヶ丘
	4	13	木	展望ロビーから望む ラグビーのまちを訪ねる東大阪ぶらり旅	新石切	荒本
	7	22	土	歩く発ケン見て拝ケン感じて体ケン参ケン旅	石切	荒本
	11	9	木	茶釜の里 秋の高山町ぶらり旅	白庭台	学研北生駒
	11	25	土	秋深し山道&癒しの参道ウォーク	瓢箪山	新石切
	12	3	日	TRYあぐるウォーク 第 4 回 生駒市の玄関口、生駒駅から自然豊かな“くろんど池”へ	生駒	学研北生駒
2018 (H30)	1	27	土	酒蔵みてある記	菖蒲池	白庭台

また、けいはんな線開業5周年記念として、2011(平成23)年には「けいはんな夢フェスタ 2011」を企画し10月1～2日に開催した。このほか、生駒駅で隣接する近鉄生駒鋼索線開業95周年イベントの一環として、けいはんな線東生駒車庫で電車の「洗車」体験を実施して好評を得るなど、引き続き集客を増やすためのイベントを開催している。

近鉄ではけいはんな線以外でも、三重県の伊勢志摩地域でマラソンやウォーキングのイベントを毎年開催して数千人単位の参加者が鉄道を利用するなど、収入増に向けた取り組みを続けている。



沿線イベント

(4) 割引乗車券、旅客誘致キャンペーン等

近鉄けいはんな線を利用できる割引乗車券として、「OSAKA 海遊きっぷ」「奈良・斑鳩 1 day チケット」などがある。いずれも関西鉄道各社と共同で発売しており、近鉄沿線から大阪市内へ、あるいは近鉄沿線外から近鉄有数の観光地である奈良・飛鳥への旅客誘致を図るものである。

近鉄全線では、伊勢志摩地域の鉄道、バス、観光船をはじめ主要観光施設の入館料金等がセットされて割安に利用できる「まわりゃんせ」が好評を博している。

このほか、近鉄では毎年、沿線の特定地域を対象に集中的なPR活動やイベントを行い、観光客の誘致を図るエリアキャンペーンを実施している。吉野、松阪などの歴史的な建造物をもつ観光地はもとより、名古屋のような大都市もエリアとしてPRすることで、関西と中部地方の間における旅客需要を喚起するなど、様々な工夫を行っている。こうしたキャンペーンの実施に際しては、沿線自治体をはじめ、地元の観光協会等と緊密に連携しており、地域全体の活性化につながるよう取り組んでいる。



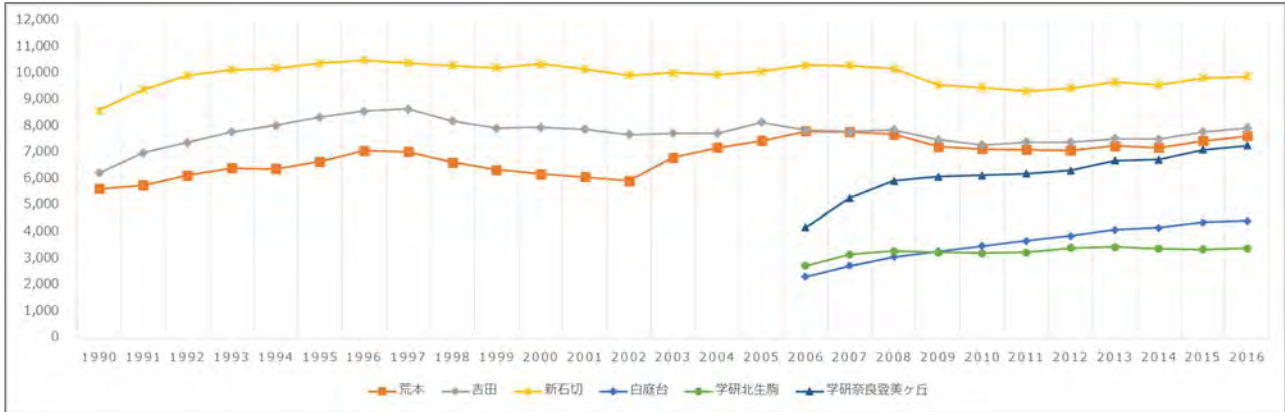
割引乗車券、誘客キャンペーンの一例

3.2 調査のまとめ

(1) 乗降客数

近鉄けいはんな線各駅の利用人員の推移を以下に示す。

表-31 けいはんな線 各駅乗車人員の推移



旧東大阪線3駅（荒本、吉田、新石切）は、1990年代から2000年代を通じて停滞していたが、近年は緩やかな増加傾向にある。これら3駅周辺では新規分譲マンションが建設されるなど開発が進み、人口が微減傾向にある東大阪市のなかでも3駅周辺エリアは比較的堅調に推移している。

けいはんな線3駅（白庭台、学研北生駒、学研奈良登美ヶ丘）は開業以来、次第に増加しているが、開業前の需要予測を大きく下回っており、特に学研北生駒駅は予測の2割程度、全体でも予測の4割程度と低迷している。これは駅北側に位置する高山第2工区の開発が中止されたことや関西文化学術研究都市における開発プロジェクトの遅れが大きく影響している。

(2) 収支の現状

近鉄けいはんな線における第2種鉄道事業者である近鉄の収支は、一貫して赤字が続いている。このうち、旧東大阪線（長田～生駒間）は1986（昭和61）年10月開業以来、利用客が次第に増加する一方、事業費の元利均等返済を進めた結果、開業から17年を経過した2003（平成15）年度に営業損益ベースでは黒字になったが、支払利息等の営業外費用が依然として大きく、税引前損益では赤字が続いていた。2004（平成16）年度には、生駒～学研奈良登美ヶ丘間の建設工事が進捗したことにより、既存線路設備の除却等により経費が増加したため再び営業赤字となった。

2006（平成18）年3月の京阪奈新線（生駒～学研奈良登美ヶ丘間）開業以降は、利用客が需要予測を大きく下回り収入が伸び悩む一方、NIRRに支払う線路使用料（2017（平成29）年度は約19億円）の負担が大きく、大幅な赤字が続いている。

なお、旧東大阪線の建設事業費についての元利均等返済は2012（平成24）年度で終了した。

こうした現状を打開するには、沿線における住宅開発の進展、未着工の高山第二地区をはじめと

する関西文化学術研究都市における研究機関・企業のさらなる進出、さらには大阪ベイエリアで2025年に開催が決定した大阪万博や、大阪府・大阪市が招致を目指すIR（カジノを含む統合型リゾート）の開業等による利用客のさらなる増加が期待される。

一方、第3種鉄道事業者であるNIRRは、近鉄からの線路使用料を当初計画通り受け取ることで借入金の返済を進めており、単年度黒字に転換している。

(3) まとめ

京阪奈新線では、開業前及び開業後に、沿線地域をはじめ関西一円での認知度を高めるための積極的なPR活動を行った。また、定住人口の増加を図るべく、近鉄が所有する土地の開発を精力的に進め、住宅はもとより商業施設、学校、保育園などの公共施設も積極的に誘致した。ここでは都市計画決定（用途変更）、土地区画整理事業の認可などにおける地方公共団体の役割も大きい。

また、近鉄は定期外旅客の増加を図るため、ハイキングやイベントを頻繁に開催して旅客誘致に努めているほか、けいはんな線を利用できる割引乗車券の発売も行っている。近鉄は、けいはんな線以外にも沿線に多くの観光地や世界遺産を有しており、観光客の鉄道利用を促進するための取り組みを全社で積極的に展開している。

こうした経営努力にもかかわらず、近鉄けいはんな線の収支は大幅な赤字が続いており、関西文化学術研究都市や大阪ベイエリアの開発が進むなど、外的な要因がない限り、大幅な収支改善は見込めない現状である。